

## 令和5年度 第3回 学校運営協議会(定時制部会) 議事録

校名	大阪府立大手前高等学校
准校長名	渋川 雅宏

開催日時	令和6年2月19日(月) 15:00~16:00
開催場所	大阪府立大手前高等学校 会議室
出席者(委員)	平野 智之、高木 学、平田 和也、堀 剛士、寺村 美岐
出席者(学校)	渋川 雅宏、石野 靖、矢野 直子、川端 俊範、坂本 達也、 山田 健太郎、荒木 聖加、砂田 純平、加藤 千穂美
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価(案)、 令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)
備考	なし

## 議題等(次第順)

- 1 授業アンケート評価の変化について
- 2 学校教育自己診断まとめについて
- 3 令和5年度学校経営計画及び学校評価(案)・令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)について

## 協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 授業アンケート評価の変化について
  - ・率直な感想として、すごく良い数字が出ていると思う。在校生のうちの何割の生徒が回答しているのか?
  - 在籍者数40人に対して、長期欠席者を除き30人が回答している。
  - ・全体的に満足度が高いということだが、この間、これを基にした進路指導の結果として、何か変化など感じられるようなことがあれば紹介してほしい。
  - 特にはない。
  - ・すごく良い数字が出ている。どんどん上がってきている。
  - ・少し前までは寒かったが、最近、暖かい日が続いている。「しばらく下がらないだろう」と知人は言う。これと同じように、授業の評価も、下期は少し下がったが、今後もしばらくは下がらないと思う。説明にあったように、2年ぐらい前から成果が上がっている理由がそのあたりにあるのかなと思う。
  - ・「知識・技能」が身に付いたという説明があった。新しい学習指導要領になり、重視すべき三要素、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取

り組む態度」は、今年度の第3学年からであり、また、評価も観点別ということである。例えば、座学や実技の6番目の質問項目で、「生徒が自ら考えて主体的…」という部分を観点で見てどう伸びたかということも、今後は「知識・技能」に加えて見ていけば良いと思う。トータルとしてそれも含まれていて、評価が上がっているのは間違いないと思う。

## 2 学校教育自己診断まとめについて

- ・生徒・保護者・教職員の各観点で説明があり、詳しい分析で分かりやすかった。
- ・図書館が生徒に活用されているということがとても興味がある。システムや活用の取り組みの例があれば、学校現場でも活用したい。

→本校では、図書室だけではなく、午後4時過ぎに登校してくる定時制の生徒の居場所として学習室を用意しており、そこにはたくさんの本が置かれている。そこにある本を読んでもらいたいということで貸し出しをし、図書館の利用のカウントに含めるようにして、「今、こんな本が読まれている等」の広報活動を行っている。これらは教職員の努力の成果であると思う。

- ・司書の先生はおられるか？

→司書ではないが図書館担当が行っている。今年度は、毎月テーマを1つ決めて掲示し、それに沿った本を紹介して広報したことで、借りやすくなったとの報告を受けている。

- ・それで借りていっているのか？

→ご明察のとおり。

- ・早く登校した生徒の居場所として大事になってきていると思う。

- ・テーマを掲示しているコーナーに置いているのか？

→ご明察のとおり。

- ・子どもは学校に行くのを楽しみにしているようだ。ただ、ずっと同じモチベーションを保つことは難しいのだろうと思われる。要因の一つに、楽しい行事が終わったこともあると思う。

## 3 令和5年度学校経営計画及び学校評価（案）、令和6年度学校経営計画及び学校評価（案）について

- ・この6年間の経緯を拝見してきたが、生徒が半減しており危機感を感じる。
- ・生徒さんや保護者さんは90%～100%で満足度が高いが、教職員のところは、50%～100%まで散らばりが大きい。区分を分けてその単位で集計をとるようにしないと傾向が見えにくいので、例えば平均70%と示されてもそもそも平均を取る意味がないように思う（他の委員も同意あり）。どういうところが平均が高く

て、どういうところが平均が低いというところの傾向を見たほうが良い気もするので、あいだ・あいだで、どこに手を打ったらよいか分かるようなものはないか思案しているところである。管理職に対して評価が下がっているように見えて損をしているように思ったので、何に対して評価を低くしているのかがわかりにくいと思った次第である。

→比較的、生徒も落ち着いていて、教員も自分のやりたい仕事に取り組める環境にあると思う。その中で、「さまざま」又は「多様な」意見も出てくると思う。ときどき思いがあふれるときもある。そのようなところが数値に反映していると思う。

- ・質問 25～27 あたりで、良い意味で意見交換が進んでいくのだろうと思う。
- ・担任への信頼が高いのは担任がしっかりされているからで、そこまでは心配する必要はないのかなと思ったりしたこと、大きな課題がないというところで、生徒さんのことをやっていこうと思ったら、学校全体として生徒支援・生徒指導は一筋縄では行かないところがあるので、そのあたりが教職員の質問項目 12～14 のところに反映されているように思う。また、授業に工夫しているところなどがあり、先生方で一つの思いや気持ちを共有されている中で、生徒さんに接していることが生徒のこの評価につながっているのは間違いないと思う。ここの意見があってという前提だと思うが、全体としての学校のねらいに対して先生方の力で実現されているのかなという印象をもった。
- ・日本語指導は大変難しい。どういう風なやり方がいいとか、どういう風にしてやれば効果があるのかなど、ここをクリアすればよいというようなことがなかなか本校の夜間学級も教員が工夫して時間をかけて教材を作ってやっているが、もしできるのであれば教材の連携のようなものが今後できれば良いなと思っている。
- ・夜間ではなく昼間の中学校にも周知やまた来ていただけるようなら中学校全体に申し合わせができるかなと思っている。
- ・中学校でも授業研修週間を設けている。教科制であるので、各教員が見学に行った際、どういう観点で授業を観てほしいのか、例えば、シートをつくって「授業の初めにめあてを示しているか」「授業の最後にまとめができていないか」「主体的で深い学びにができていないか」「ICT を活用しているか」など、いくつかの項目を提示しているが、貴校ではどうか？

→本校では、以前は貴校のような細かいものを考えていたが、今年度は、2点のみ着目点とした。授業については教員はしっかり見てくれているので、授業はもうある程度クリアしているだろうということで、授業ではなく生徒の様子、「どこで観ているか」「どこで困っているか」というところを見ましようということと、他者紹介（この授業のいいところを他の教員に勧めたいところはあるか）に整理した。これでアンケートをとって、それを全体に共有し、個々の教員にも返すという形で取り組んだ。また、「授業研究週間はもうどうでしたか？」という内容で事後アンケート

も行った。

- ・勉強になった。

→仰られた、中学校への周知の場があればご教授願いたい。活かしていきたいと思う。

- ・大阪市立中学校校長会（全体会）が月1回実施されているのでエントリーいただければと思う。

→よろしくお願いします。

- ・令和5年度のもは前任の准校長がつくられたものと思うが、令和6年度のもは大分変わったように思う。前年度に評価が低かったところは、このようにするということが記されておらず、なくなってしまったものもあるような気がした。これがダメだということではなく、次の准校長が変えることは構わないと思うが、前年の評価と次年度は「だからこうした」という部分が聞けていないように思う。「どのような思いで変えたのだろうか」と思うので、准校長の説明（ひとことのようなもの）が聞けたら安心する、わかりやすくなると思う。特に最後の学校力の向上のところで多くは達成されているが、軒並み△印のところ、次のものに2個ぐらしか入っておらず、捨てたように見えてしまうので、「それよりもこちらのほうが大事だ等」の説明があればと思う。あるいは、順番を変えただけなら、そのことについて説明をしていただいたら良いと思う。

→記載が2枚目から3枚目にまたがってしまったので、評価指標が減っているように見えるかもしれないが、項目ははずしていない。項目を整理し、表記する順番を変えただけであるのでご了承願いたい。

- ・説明により確認ができた。

- ・不登校の人が定時制の高校に通えることを知らなかったので、中学校にもそのような生徒が通っていることも周知していただきたい。

→中学校からきたお子さまがいるときに、中学校に広報しようと考えている。

- ・居場所づくりについて、かつていろんな学校でもやっているが、校内カフェなど貴校も経験があると思うが、3年生の生徒が修学旅行などで活躍され、将来につながる活躍の場を思ったときに、校内には多文化にルーツのある生徒も多いので、そういった生徒が主役になって、居場所となって、中学生に来てもらって、校内でフランクに話せる場のようなものになれば、それ自体が生徒支援になるのではないかと思う。貴校では、担任、教科のことを非常に手厚くされている話や図書のある学習室の話もあったので、年1回、コロナもあけ、食事もできるようになっていると思うので、生徒さんの中には上手な方もおられたり、前回、家庭科やいろいろな授業を見せていただいたときに、そういうところが反映される授業だったらいいなとすごく思っている。それが本来、主体的な学びであったり、自分たちで居場所をつくっていくことを促していくことが、より楽しい学校、自分たちの学校、地域に開か

れていく一つの方策かなと思う。『生徒さんによる多文化カフェ』にSSWさんにもきていただき、中学の人に来てもらって、こんな風にして居場所として、いろいろな生徒さんが変わっていき成長していく、ある人は回復していくようなあったかい場所をみんなでつくっていけば、授業も生徒支援も結びついていくのではないかと思う。

※ 令和5年度学校経営計画及び学校評価（案）・令和6年度学校経営計画及び学校評価（案） → 承認

次回の会議日程（予定）	
日時	令和6年6月末～7月上旬 15:00～16:00
場所	大阪府立大手前高等学校 会議室